



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第8号

令和4年12月22日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

「続ける才能」 (2学期の終業にあたり)

校長 富永 浩文

2学期80日間(内臨時休業1)の終業です。日々新型コロナウイルス感染症防止に努め、一日一日を大切にしながら教育活動を行い、この日を迎えることができました。地道に頑張りが続けた子どもたち、温かい支援をし続けてくださった保護者の皆様、地域の皆様、全ての皆様に感謝します。

学校にとって2学期は、教育活動の「実りの秋」でありました。そして、それを表現する行事が続きました。マラソン大会、陸上大会では、へこたれない力を精一杯発揮しました。文化祭では個性あふれる絵画を展示し、心を一つにした音楽を発表しました。合唱・金管演奏を地域に向けてオンラインでも発信しました。音楽発表会やジオパーク学習交流会では、他校と成果を発表、共有しました。親子で作った作品を展示し、糸魚川ミライトのイルミネーションに彩を添えました。

子どもたちが様々な方法で学びの成果を表現、発信し続けることにより、保護者の皆様や地域の皆様に、元気や喜び、感動を届けることができました。子どもたちの真面目で一生懸命な姿をとおして、皆様に感謝の気持ちをお返しできたのではないかと考えています。

長い2学期、必ずしも毎日が順風満帆というわけではなく、時には逆風にさらされ挫折したり、辛い思いをしたりしたこともあったかもしれません。しかし、皆様からの支援により、そうしたことも力に変えて、今日を迎えることができました。どの子も、また一回り大きくなり、改めて成長を実感します。2週間の冬休みを過ごして、新たな気持ちで3学期を迎えてほしいと思います。

1学期を終えるとき、私は子どもたちに「遊・働・学」の勧めを話しましたが、2学期も終業にあたり、この3つを大切に冬休みを過ごすように話しました。加えて、今回は「続ける才能」という言葉を話し、子どもたちに「続けていることを続ける」「続けていることを、よりよく続ける」「続けることを見つける」ことを話しました。

「続ける才能」を強く感じるのには、毎朝お世話になっている交通指導員さんと防犯ボランティアさんの姿です。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、休むことなく子どもたちの安全を守るために立ち、歩いてくださっています。きっと強い意志と生きがいが、これに携わる皆様の「続ける才能」の原動力ではないかと思います。その姿に、日々感謝し、学んでいるところです。



善い行いを続けることは我慢強さが必要です。くじけそうになった時に、へこたれない力が必要です。「遊ぶ」ことは楽しいことなどなので続けられますが、お手伝いなどの「働く」ことや宿題、自主学習などの「学ぶ」ことは、休まず続けるのは難しいです。しかし、「継続は力なり」という諺のとおり、ちょっとずつでも続けているとやがて生活の一部となり、大きな力となります。

冬休み、「続けること」(できれば家族みんなで)について話し合い、実践の支援をいただけると幸いです。3学期もご協力いただきますようお願いいたします。皆様、よいお年をお迎えください。